

曹洞宗総合研究センター 第25回学術大会 プログラム

開催日 令和5年10月30日(月)～31日(火)

会場 曹洞宗檀信徒会館(東京グランドホテル)

第1部会 3階 桜の間

第2部会 3階 蘭の間

大会日程

- 1、開会式 9時30分 桜の間
- 2、大本山總持寺開山太祖瑩山紹瑾禪師七〇〇回大遠忌記念シンポジウム 10月30日
第1部 10時 桜の間
第2部 13時 桜の間
- 3、個人研究発表 10月30日、31日
第1部会 桜の間 第2部会 蘭の間

<第1日> 10月30日

第1部会 <桜の間>シンポジウム 第1部

午前の部(10時～12時)

太祖瑩山禪師

～曹洞宗の未来を開く～

基調講演

『伝光録』～新たな宗旨の展望～

駒澤大学名誉教授・元センター所長 池田魯參

個別発表

四国の地点から見た瑩山禪師～多視点性による瑩山禪師研究の新時代へ～

徳島県城満寺住職 田村航也

『洞谷記』で知る両祖を貫く「宗旨」

元センター主任研究員 竹内弘道

瑩山禪師遺誠再考～当山尽未来際置文～

センター講師 尾崎正善

パネルディスカッション

コーディネーター 尾崎正善

午後の部（13時～15時）

第1部会<桜の間>シンポジウム 第2部

宗学研究部門 リレー発表

瑩山禅師の総合的研究

～『瑩山清規』を中心として～

- | | | |
|---------------------------|-----------|-------|
| 1. はじめに—『瑩山清規』の研究の概要 | 常任研究員 | 秋津 秀彰 |
| 2. 麟広書写本『瑩山清規』における声明譜について | 宗学研究部門研究員 | 山内 弾正 |
| 3. 瑩山禅師における戒法の位置づけ | 宗学研究部門研究員 | 秦 慧 洲 |
| 4. 『瑩山清規』にみられる僧俗のかかわり | 宗学研究部門副主任 | 澤城 邦生 |
| 5. 『瑩山清規』所収の願文について | 宗学研究部門主任 | 小早川浩大 |
| 6. おわりに—『瑩山清規』の今後の研究課題 | 常任研究員 | 秋津 秀彰 |

午後の部

第1部会<桜の間>個人発表

午後の部（15時～17時）

- | | | |
|--------------------------|-----------|-------|
| 7. 瑩山紹瑾と喫茶文化 | 駒澤大学専任講師 | 館 隆 志 |
| 8. 慈廣寺本『瑩山清規』について | 駒澤大学非常勤講師 | 廣瀬 良文 |
| 9. 『伝光録』における瑩山禅師の提唱とその出典 | 愛知学院大学准教授 | 横山 龍顯 |
| 10. 道元の『法華経』の引用に関する一考察 | 早稲田大学大学院 | 米野 大雄 |
| 11. 道元禅師と儀礼（一） | センター研究員 | 永井 賢隆 |
| 12. 道元禅師の本覚観 | 愛知学院大学講師 | 清野 宏道 |

第2部会<蘭の間>個人発表

午後の部 (13時~17時)

1. 禅社員研修の意義と価値

センター常任研究員 宇野 全智

2. 甘露英泉における十六条戒の位置づけについて

駒澤大学大学院 務臺 宗孝

3. 道元禅師肖像版画について

大本山永平寺学術事業推進室主任調査研究員 長谷川幸一

4. 中国仏教における「禅観」について

愛知学院大学専任講師 大松 久規

5. 坐禅教化における説示の検討

センター研修生 吉田 徹英

6. 地域とともに歩む寺院を考えるー寺マルシェに注目してー

センター研修生 吉長 洸大

7. 東日本大震災における取り組みー『曹洞宗報』を基軸としてー

センター研修生 渡辺 秀憲

8. 「発願式」に関する一考察ー方法の再現可能性の考察と意識調査をもとにー

センター研究生 原山 佑成

9. 地域高齢者施設で禅の呼吸法を実践するためにー展望研究ー

群馬県長岡寺住職 酒井 晃洋

10. 仏暦は、釈尊涅槃年から始まる暦法、即ち仏滅紀元である

愛知県龍潭寺住職 別府 良孝

11. 女子学生の生命倫理観についてー『脳死』・『臓器移植』を通じてー

駒沢女子短期大学准教授 岡本 啓宏

12. 仏教保育の要点を考えるー「クモがかわいそうだよ」の言葉からー

育英短期大学名誉教授 佐藤 達全

<第2日> 10月31日

第1部会<桜の間>個人発表

午前の部 (9時~12時20分)

1. 『人物評論奇人正人』に見る遠藤龍眠伝

近現代教団研究部門主任 古山 健一

2. 僧堂教育の歴史的研究に関する覚書

センター常任研究員 新井 一光

3. 衛藤即応「宗門の本尊論」の系譜ー講述録公刊版と各種異本ー

センター嘱託員(研究員) 工藤 英勝

4. 恵心僧都源信撰述『止観坐禅記』について

センター専門研究員 清藤 久嗣

5. 面山瑞方の「黙照」観に関する一考察

センター委託研究員 久松 彰彦

6. 大名の国替えと寺院の移転建立について

曹洞宗文化財調査委員会主事 伊藤 良久

7. 曹洞宗葬送関連切紙の周辺

センター委託研究員 佐藤 俊晃

8. 新しい葬送と死者の尊厳－墓埋法第一条を考える－

東京工業大学大学院 谷山 昌子

9. 曹洞宗檀信徒における葬儀・法事への癒しの意識について

埼玉県龍泉寺住職 柿沼 和秀

10. 日本臨済禅にみる動物供養の歴史とその意義

花園大学国際禅学研究所客員研究員 瀧瀬 尚純

第2部会 <蘭の間>個人発表

午前の部 (9時～12時20分)

1. 禅とミニマリズム

センター研修生 軽部 真生

2. ソーシャル・キャピタルとしての寺院－被災地気仙沼を例に－

センター研究生 菊地 志門

3. 東日本大震災における支援課題－コロナ禍における持続的支援活動の展開－

未来創生研究部門主任 久保田永俊

4. 曹洞宗の「家庭教化」について

女性と仏教・関東ネットワーク 瀬野 美佐

5. 寺院存続と社会貢献活動

埼玉県清法寺住職 川口 道寛

6. クラウドファンディングを活用した布教教化の可能性

センター講師 横山 俊顕

7. 続・「教区布教」の可能性－教区 SNS における利用動向の分析を中心に－

教化研修部門主任 関水 博道

8. 鈴木俊隆と弟子丸泰仙が欧米で説いた只管打坐

駒澤大学大学院 千葉 聡

9. 多様性を考える－北アメリカの禅センターの活動から－

教化研修部門副主任 南原 一貴

10. ハワイ正法寺所蔵の写真資料に見るハワイ仏教の一側面

－ハワイ仏教文化財調査中間報告として－

駒澤大学教授 石井 清純

※プログラムは変更になる場合があります。